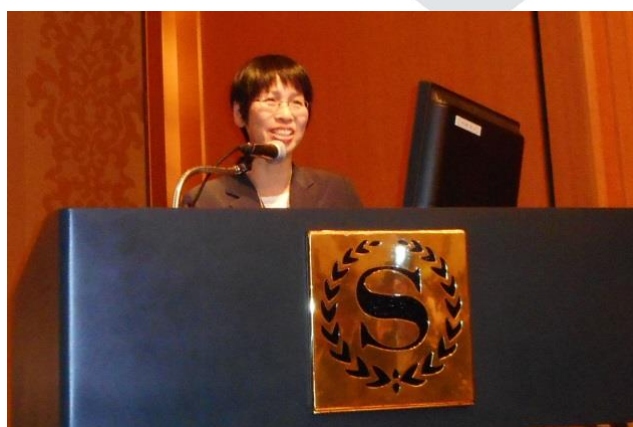


第 77 回全国産業安全衛生大会 2018 に参加

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長：松井徹）は、横浜市で 10 月 17 日（水）から 19 日（金）に開催された「第 77 回全国産業安全衛生大会 2018」に参加しました。



職場活性化の取り組みについて発表する保健師 濱田

全国産業安全衛生大会は、「安全・健康の決意新たに トップの率先 現場の改善」をテーマに開催。1 日目には総合集会、2、3 日目は労働災害防止に関連するテーマごとに 14 分科会で約 270 題のプログラム（研究発表、講演、パネルディスカッションなど）の発表がありました。

当社からは人事部 ヘルスケア室の保健師 濱田静江が「ストレスチェック制度を活用した職場の『いきいき診断』と職場活性化の取り組み」と題して研究発表を行いました。

濱田は、2016 年度から法制化されたストレスチェックの活用と職場改善の取り組みにより、職場の改善が効果的に進められた事例を報告。ストレスチェックの回収率の全国平均は 8 割未満とされる中、当社が 2017 年度に従業員約 3,200 名を対象に実施した「いきいき診断」の回収率は 95.9%と高かったことについて、「定期健診とセットで実施することで、負担感を軽減できたことが大きい」などと紹介しました。

また、設問は 57 問が一般的なところ、当社では計 120 問を設定。職場風土や満足度を把握できるのが特徴で、診断の結果に応じて社員参加型の職場改善活動「職場ドック」などを実施していることを報告、会場からは質問も多く寄せられ、関心の高さを示していました。

住友理工は今後も「住友理工健康宣言」に則り、社員が健康でいきいきと活躍できる企業グループを目指します。

以 上

―― 住友理工について ―――

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制音部品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。23ヶ国106拠点に広がるグローバルネットワークを活用して、世界中の人々の安全・快適・環境に貢献する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先

住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail kouhou@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>